

# 秋季高校野球青森県大会



準決勝に向けて調整する八学光星の選手＝28日、八戸市

# あす八戸で準決勝

光星 × 弘前南

青森山田 × 弘学聖愛

チーム	試合数	打数	安打	長打			打率	打点	四死球	犠打	盗塁	失策	併殺	残塁	総得点	総失点
				本	二	三										
八学光星	3	68	29	2	2	6	.426	30	4	18	7	10	0	16	32	1
弘前南	4	138	46	0	7	5	.333	20	13	19	11	5	5	40	23	7
青森山田	3	82	31	4	3	4	.378	27	11	25	12	3	3	26	30	6
弘学聖愛	3	77	32	0	5	10	.415	26	13	23	5	21	0	23	30	3

秋季東北地区高校野球青森県大会は30日、八戸長根球場で準決勝が行われる。今夏の甲子園ベスト8の八学光星は、公立校で唯一4強入りした弘前南と対戦。準々決勝で工大一を下した青森山田は弘学聖愛と激突する。来春のセンバツの選考材料となる東北大会（10月16、22日・秋田県）には上位3チームが出場できるだけに、勝てば切符を手にする準決勝はヤマ場となる。

八学光星はチーム打率が4割2分6厘と4強でトップ。上位から下位まで切れ目なく、ここまでの3試合は全て2桁得点でゴールド勝った。投手陣は、140球の速球を投げる洗平比呂、岡本琉斐の経験豊富な左腕に加え、3回戦で活躍した麦則左腕の森田智晴らがそろそろ。総失点は最少の1で無失策を続ける。1回戦から勝ち上がった弘前南は、エースで主将の川越太陽が全4試合で登板し、計35回を投じて4失点と安定感がある。準々決勝では弘前工との同地区対決を制し、2年ぶりの4強入りを決めた。

3連覇を目指す青森山田は、3回戦で弘前東にコールド勝ちを収め、準々決勝では本格派左腕を擁する工大一を破って勢いに乗る。3試合で計4本塁打とハンチ力が光る打線は、対戦相手にとって脅威だ。

3年ぶりの東北大会出場を狙う弘学聖愛は、3試合で計15本の長打を放つなど打線が好調。4チームで最多の21盗塁と機動力も駆使する。投手陣は総失点3で安定し、無失策の堅守もバツテリーをもち立てる。

大一番を控え、八学光星ナインは28日、八戸市の室内練習場で調整。砂子田陽士主将は「自分たちのペースで戦い、東北大会出場を決めたい」と意気込んだ。

（千葉達也）